

★岐阜県東濃地域の医療問題に関わって

岐阜県東濃地域では、公立・公的病院再編名指しでは、4病院が名指しされ、大きな波紋が広がりました。地域住民や、地域で意識的に地域医療問題について関心を持ち活動している個人や民主団体・労働組合などが集まり、2次医療圏全体の医療問題の情報共有や交流を目的に「東濃地域連絡会」も結成（2019/12/19）され運動強化を図って来ました。本通信編者の「長尾」は、この地域のいくつかの運動組織に関わって、学習会や、運動の相談を受けてきました。直近に行った2カ所の「学習会」について報告します。また、これまでに、岐阜県内の「中津川市」「土岐市」「瑞浪市」「多治見市」さらには、「岐阜市」「羽島市」において、地域医療問題の学習会や運動の検討会に関わってきました。地域の医療問題は、地域で学習し、考え、市民運動を作っていくと言うことが大切です！

①「瑞浪の地域医療を考える学習会」 1月23日(20人)

瑞浪市にある「東濃厚生病院」と、土岐市の「土岐市立病院」の統合再編・新病院建設をめぐり、1/22に新病院建設予定第3地点が審議会で決定される状況の中で、瑞浪市内の「東濃厚生病院の存続を求める市民の会」が主催し、1月23日に「瑞浪の地域医療を考える学習会」を開催しました。岐阜県にも新型コロナウイルス緊急事態宣言が出されている中、市民の会に結集する約20名が参加しました。地域医療や新型コロナウイルス感染症の実態について長尾が報告し、新病院建設を土岐市内の第3地点に決まった中で、瑞浪市における地域医療をどの様守っていくのか？今後の運動について意見交換を行いました。

2021年1月24日(日)

瑞浪の医療あり方考える 病院統合を巡り講演会

土岐市立総合病院と東濃厚生病院(瑞浪市)の統合を巡って、瑞浪の地域医療のあり方を考える講演会が、二十三日、同市榑上町の市民福祉センターで開かれた。

愛知県社会保険推進協議会(名古屋支部)の長尾長泰氏が「市民が組織をつくり、行政や病院に要求を出し続ける必要がある」と説いた。

講演会は瑞浪市民らでつくる「東濃厚生病院の存続を求める市民の会」主催。会のメンバーを中心に約二十人が参加した。

土岐、瑞浪両市の医療提供体制審議会は、両病院を統合した新病院の建設候補地を土岐市肥田町内とする案を今月二十一日に両市長に答申する。市民の会では、今後の活動方針を検討している。

(片岡典子)

素のある地域医療の体制の必要性を説く長尾氏(左)と、瑞浪市榑上町の市民福祉センターで



②「多治見の地域医療を考える学習会」 2月20日(23人)

公立・公的病院再編名指し病院として「多治見市民病院」が名指しを受けた中、「多治見の地域医療充実を考える市民の会」は、多治見市民病院に関わる「市民アンケート」に取り組み711枚を回収しました。2月20日の第2回学習会では、①711枚のアンケート結果報告、②多治見市と東濃地域の医療の実態について、③「地域医療と新型コロナウイルス感染症」に関わる学習(長尾が報告)を行いました。711枚回収したアンケートをどのように活用していくか?、市民の医療を守る為に、市民病院の役割をどの様に求めて行くのか?などを話し合いました!

